

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(浮穴地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
1	<p>重信川河川敷の活用について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場・ベンチを設置してほしい。 ・小さい子どもたち、中高生が遊べる遊具を設置してほしい。 ・テニスコートをつくってほしい。 	<p>重信川河川敷の駐車場は、松山市が整備する方向で現在、国土交通省と協議中です。ベンチは、松山市が平成25年7月に3基、平成26年3月に2基、設置しました。遊具は、現在、公園が300箇所以上のあるなかで多くの設置の要望をいただいています。厳しい財政状況の中、すべてのご要望にお応えすることは難しい状況ですが、要望書をご提出いただければ、検討したいと考えています。</p> <p>テニスコートは、松山市は現在、松原泉の上流部に4面整備していますので、新たに造る予定はありません。また国土交通省を通じて、森松ゴルフ倶楽部のテニスコートについて問い合わせをしたところ、1面は使用できるそうですが、もう1面は費用的にすぐには使用できないとの回答をいただいています。</p>	都市整備部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(浮穴地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
2	<p>50万都市松山の魅力づくりとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合公園にサクラメントの木、花を咲くような山にしないのか。 ・浮穴地区に花の名所してはどうか。 ・重信橋を塗り替えライトアップや、鯉のぼりを泳がせてはどうか。 ・杖ノ淵公園に釣り堀を復活してはどうか。 	<p>総合公園の椿園には、日本の品種が300種、洋種が200種、あわせて2,500本の椿が植栽されています。特に姉妹都市のサクラメントに由来する品種は、ほかでは観ることができないほど数多くあります。H26年3月には「全国椿サミット松山大会」が開催され、全国から350名余りの椿愛好家の方々が訪れました。</p> <p>さらに、さくらの丘は「ソメイヨシノ」を中心に1,000本を超える桜があり、特に珍しい緑の花が咲く「ギョイコウ」という品種や、黄色い「ウコン」というサクラもあります。</p> <p>このように総合公園では、年間を通じて様々な季節の花を楽しむことができますので、ぜひ足をお運びいただきたいと思えます。</p> <p>また、新たな魅力づくりとして眺望スポットを5箇所整備し、全国夜景100選(非営利団体認定)にも選ばれています。さらに市民の皆さんの提案によりドッグラン(大型犬用、小型犬用の2か所)の整備も行っています。</p> <p>「浮穴地区を花の名所に」、は、昨年から重信川河川敷の交通公園の花壇を花いっぱいにと、管理協力会の方たちに取り組んでいただいています。春にはチューリップ、秋にはコスモスが一面に咲き、今は、ひまわりを植えていて、会員の皆さんのおかげで順調に育っていると思えます。</p> <p>重信橋は、管理者である愛媛県に問い合わせたところ、「重信橋は、国土交通省(松山河川国道事務所)から河川占用許可を受けて設置している県管理の橋梁です。愛媛県では県民の皆様の大切な資産である橋梁の長寿命化を図っており、全ての橋梁を順次調査・点検しています。今後、重信橋の調査・点検時に、塗装の劣化が確認されれば橋の塗り替えについて検討します。</p> <p>重信橋のライトアップは、道路管理者として歩行者や車の通行に必要以上のライトアップは考えていません。</p> <p>鯉のぼりについても、道路管理者として設置は考えていませんが、鯉のぼりが道路利用者の視野を障害するなど、事故の可能性がある場合は、許可は難しいと思われます。また、河川上に設置する場合には、許可権者である松山河川国道事務所にご相談ください。」との回答をいただきました。</p> <p>杖ノ淵公園は、杖ノ淵の湧水は日本の名水百選にも選ばれており、釣り餌や釣りをするための魚の放流等による、水質への影響を考えると実施は難しいと考えています。</p>	都市整備部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(浮穴地区)

意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
<p>3 森松町、浮穴支所北の農道・水路の改良をお願いしたい。土地を寄付をするのに、工事までしないといけないのか。</p>	<p>平成24年10月2日に関係者と現地を立会しました。地元土地改良区等としては、この現在使用していない農道や水路を整備することにより、国道の側道への通行が可能となると、飛び出しなどの事故のおそれがあるので、当面、この整備を希望しない、とお伺いしました。そのため、水路への転落防止の安全対策として、平成24年11月に反射器(デリニエーター)を設置しています。</p> <p>農道の改良は、地元土地改良区等からの申請が必要ですので、近くの土地改良区等まで相談をお願いします。</p> <p>市道としての要件を満たさない生活農道を整備する場合は、舗装工事は松山市で行いますが、支障物件を取り除くことは、土地の所有者や地元の方に負担をお願いすることになります。</p>	<p>下水道部 産業経済部 都市整備部</p>
<p>4 井門町高速道路高架をくぐるトンネルの清掃はだれがするのか。年に1度くらいは清掃してほしい。</p>	<p>この道路は、松山市が維持管理を行っている市道で、平成24年9月に現状を確認し、路面・ガードレール・照明灯の清掃と除草を実施しました。最近では平成26年7月9日に道路パトロールカーで巡回した際、ガードレール、照明灯に少し汚れが見受けられましたが、早急に清掃が必要な状況ではありませんでした。</p> <p>市道の維持管理は道路管理課が行っており、常時3台の道路パトロールカーで巡回して、危険箇所等の発見や補修に努めています。道路の異常を見つけた場合は、道路管理課までご連絡をお願いします。</p> <p>(道路管理課 総務管理担当 948-6471)</p>	<p>都市整備部</p>
<p>5 三島公園の電気を直してほしい。</p>	<p>この公園の電気は、平成24年9月21日に修理を完了しています。</p> <p>今後も公園について何かありましたら、公園管理協力会を通じて、公園緑地課までご相談いただければと思います。</p>	<p>都市整備部</p>
<p>6 国道33号と外環状線の交差点は交通量が多く、距離も長く危険。安全対策はとれないか。</p>	<p>平成26年3月16日に開通した国道33号松山外環状道路インター線(井門IC～古川ICL=1.2km)により、これまで松山IC～国道33号～市道松山環状線を利用していた交通の一部が、松山外環状道路を利用するようになり、国道33号～天山交差点の渋滞の緩和が図られたと考えています。</p> <p>今後、外環状道路の供用区間が延長されますと、さらに交通量の分散化が図られ、国道33号～天山交差点方面の渋滞の緩和が予想されます。</p> <p>また、国が管理する国道33号と一部開通した外環状道路の安全対策は、平成26年度に予定している国土交通省と警察の合同点検で必要な措置を検証することになっています。</p>	<p>都市整備部</p>

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(浮穴地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
7	森松団地近くに危険な交差点がある。交差点を着色している交差点もあるが、できないか。	<p>平成24年10月3日に、関係者と県営森松団地の北西側と北東側の交差点を確認し、それぞれ一時停止の規制がされており、一定の安全対策が実施されているものと判断しました。</p> <p>その後まもなく、北西側の交差点には横断歩道が整備されたので、さらなる安全対策が実施されたものと認識しています。</p> <p>しかしながら、これらの交差点は、子ども目線の交通安全マップに交通量の多い箇所として掲載されていることから、平成26年7月9日に教育委員会を通じて、交差点の安全点検を実施することについて、学校に確認をしています。</p> <p>今後、学校側と協議が整い次第、地元の方や警察等関係者と合同点検を実施したうえで、これまで以上の対応策を検討したいと考えています。</p>	都市整備部
8	豊島家住宅、郷土館近くにさわる美術館をつくってほしい。	<p>「さわる美術館」を新たに建設することは、施設の必要性や建設場所の選定も含め、中長期的な計画の中で検討していく必要があると考えており、現在の厳しい財政状況から、建設は難しいと考えています。</p> <p>松山市考古館では、発掘調査で出土した出土遺物やレプリカを使って、実際に触って感じていただける展示、また出前講座なども行っていますので、ぜひ考古館をご利用いただければと思います。</p>	教育委員会事務局
9	子どもの事故を防ぐため、車がスピードを出しにくくなる道づくりはできないか。	<p>車の速度を抑制する対策としては、段差(ハンプ)を設けることや、コミュニティ道路のように車道の通行帯を蛇行させる対策が考えられますが、騒音や安全性等沿線の皆さんへの影響が大きいことから、現在松山市では実施していません。</p> <p>交通安全対策としては、関係機関と連携し、信号や横断歩道、カーブミラー等を設置するとともに、交差点や路側帯の路面表示の工夫による注意喚起等、それぞれの箇所に応じた対策を実施しています。</p> <p>今後も地域の皆様のご協力をいただきながら、安全安心な交通の確保ができる道づくりに努めていきたいと考えています。</p>	都市整備部
10	県道194号線は道路改修でかまぼこ型になり歩行者、車いすが危険、宅地とも段差ができています。改修できないか。	<p>平成24年10月3日に関係者と現地立会を行い、県道194号線と市道・農道が交差する変則5差路の安全対策と県道の路肩の補修について確認しました。</p> <p>早急に管理者である愛媛県へ内容をお伝えし、平成25年度に路肩等の補修、減速マークの整備、交差点の一部カラー化などを実施しています。</p>	都市整備部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(浮穴地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
11	松山市はどのような水資源開発、確保策をとっているのか。	<p>新規水源の開発は、想定できる19の方策を総合的に検討した結果、西条市にある黒瀬ダムからの松山分水を最優先に進めることにしています。</p> <p>現在、西条市・新居浜市・愛媛県に松山市の4者により構成された「水問題に関する協議会」の場で、加茂川と黒瀬ダムの水資源の有効活用、その他の水問題について、客観的な視点から検討・協議を行っています。こうした協議を通じて、西条市の水を守ることを第一義に、地元西条市等の関係者のご理解が得られるよう、誠心誠意、取り組んでいます。</p>	総合政策部
12	支所、消防署跡地について、高齢化に対応する福祉事業の場として活用すればよいのではないか。	<p>森松町の消防署跡地は、浮穴支所と併設で使用されていましたが、平成元年に南消防署が新設され、平成3年の浮穴支所の新築移転により空き家となりました。その後は、倉庫として使用していましたが、雨漏り等の損傷が激しく現在は使用していません。</p> <p>跡地の利用は、庁内で協議を行いましたが、昭和46年に建築された建物で耐震性がないこと、さらには修繕や取り壊しに多額の費用が必要なことなどから、有効な利活用策もなく、売却することになっています。</p> <p>松山市では、市内約490カ所の公民館や集会所など地域の身近な既存の施設を利用して、ふれあい・いきいきサロンや高齢クラブなど、誰もが気軽に参加できる活動が行われています。</p> <p>浮穴地区では、浮穴公民館、森松分館、井門集会所、南高井集会所、森松団地中央集会所でふれあい・いきいきサロンを実施し、また、5つの高齢クラブが既存の場所を活用し福祉事業活動を行っていただいていますので、現在のところ、新たな福祉事業の場を整備する予定はありません。</p> <p>地区の皆さんから、この跡地について福祉施設とは別の用途として、公共的で緊急性の高い有効活用策のご提案をいただければ、検討したいと考えています。</p>	理財部 保健福祉部